

「アスリートイメージ評価調査」2017年9月調査 ～「勢いを感じる」アスリートは清宮幸太郎、宇良、井手口陽介 「明るい」アスリートは伊藤美誠、石川佳純、白井健三～

株式会社博報堂D Yスポーツマーケティング（本社：東京都港区 社長：岩佐克俊）は、株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ（本社：東京都港区 社長：矢嶋弘毅）、データスタジアム株式会社（本社：東京都港区 社長：加藤善彦）と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」2017年9月調査を行いました。

■ 調査結果 ■

アスリートのイメージ評価項目「**勢いを感じる**」アスリートの**1位は、清宮幸太郎（野球）**となりました。2位以下は宇良（大相撲）、井手口陽介（サッカー）、白井健三（体操）、阿部一二三（柔道）となっています。清宮幸太郎は、高校通算111本塁打を記録、プロ志望も表明しています。井手口陽介は、2018 FIFAワールドカップアジア最終予選で日本代表として初ゴール、6大会連続のワールドカップ出場に貢献しました。また、阿部一二三はハンガリー・ブダペストでの世界柔道選手権大会・男子66キログラム級で金メダルを獲得しました。

「**明るい**」アスリート**1位は、伊藤美誠（卓球）**となりました。2位以下は石川佳純（卓球）、白井健三（体操）、瀬戸大也（水泳）、高梨沙羅（スキー・ジャンプ）となりました。また、「**純粋な**」アスリート**1位は白井健三（体操）**、2位は宇良（大相撲）、3位は高梨沙羅（スキー・ジャンプ）／清宮幸太郎（野球）、5位が伊藤美誠（卓球）となりました。

「**好感が持てる**」アスリート**1位は、石川佳純（卓球）**でした。2位は白井健三（体操）／奥原希望（バドミントン）で、4位は大谷翔平（野球）、5位は瀬戸大也（水泳）となりました。

また、**2020年東京オリンピックについての質問では、期待している競技1位は「体操」となりました。**以下、「柔道」「卓球」「野球・ソフトボール」「競泳」などとなっています。2015年調査でも「体操」は同じく1位となっていました。以下、「柔道」「競泳」「レスリング」「サッカー」などでした。「卓球」は2015年7位から2017年3位に、「陸上」は2015年10位から2017年6位に順位を上げ、2015年10位以下だった「バドミントン」やオリンピック競技に復活した「野球・ソフトボール」も上位10競技にランクインしてきています。未来を担うアスリートたちの活躍が期待度の高さを支えていると考えられます。

「アスリートイメージ評価調査」はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、調査対象としたアスリートの認知、好意度のほか、独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。博報堂D Yメディアパートナーズグループでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価の分析を行ってまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社博報堂D Yスポーツマーケティング 経営計画・管理部 酒井 03-6441-7990

■ アスリートイメージ総合ランキング

1位：イチロー（野球） 2位：羽生結弦（フィギュアスケート） 3位：内村航平（体操） 4位：錦織圭（テニス）
5位：長谷部誠（サッカー） 6位：白井健三（体操） 7位：大谷翔平（野球） 8位：石川佳純（卓球）
9位：高梨沙羅（スキー・ジャンプ） 10位：伊達公子（テニス）

■ アスリートイメージ評価 各種ランキング

・「勢いを感じる」アスリート

1位：清宮幸太郎（野球）
2位：宇良（大相撲）
3位：井手口陽介（サッカー）
4位：白井健三（体操）
5位：阿部一二三（柔道）

・「明るい」アスリート

1位：伊藤美誠（卓球）
2位：石川佳純（卓球）
3位：白井健三（体操）
4位：瀬戸大也（水泳）
5位：高梨沙羅（スキー・ジャンプ）

・「純粋な」アスリート

1位：白井健三（体操）
2位：宇良（大相撲）
3位：高梨沙羅（スキー・ジャンプ）
3位：清宮幸太郎（野球）
5位：伊藤美誠（卓球）

・「好感がもてる」アスリート

1位：石川佳純（卓球）
2位：白井健三（体操）
2位：奥原希望（バドミントン）
4位：大谷翔平（野球）
5位：瀬戸大也（水泳）

・「爽やかな」アスリート

1位：羽生結弦（フィギュアスケート）
2位：石川祐希（バレーボール）
3位：瀬戸大也（水泳）
4位：白井健三（体操）
5位：大谷翔平（野球）

・「リーダーシップがある」アスリート

1位：長谷部誠（サッカー）
2位：ヴァヒド・ハリルホジッチ（サッカー）
3位：阿部慎之助（野球）
4位：緒方孝市（野球）
5位：稲葉篤紀（野球）

・「情熱的な」アスリート

1位：羽生結弦（フィギュアスケート）
2位：本田圭佑（サッカー）
3位：イチロー（野球）
4位：丸佳浩（野球）
5位：ヴァヒド・ハリルホジッチ（サッカー）

・「常にチャレンジ精神を持ち続けている」アスリート

1位：イチロー（野球）
2位：羽生結弦（フィギュアスケート）
3位：内村航平（体操）
4位：伊達公子（テニス）
5位：白井健三（体操）

■ 2020年東京オリンピックで期待している競技～上位10競技～

<2017年9月7日～9月13日実査>

1位：体操 2位：柔道 3位：卓球 4位：野球・ソフトボール 5位：競泳 6位：陸上
7位：レスリング 8位：サッカー／バドミントン 10位：テニス

<2015年9月30日～10月8日実査>

1位：体操 2位：柔道 3位：競泳 4位：レスリング 5位：サッカー 6位：テニス
7位：卓球 8位：バレーボール 9位：シンクロナイズドスイミング 10位：陸上

※2015年調査では、野球・ソフトボールが正式種目ではなかったため、対象競技に含めていません。

■ 調査概要 ■

- ・調査方法：Web調査
- ・調査地区：首都圏＋京阪神圏
（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）
- ・調査対象者：対象エリアに在住の15～69歳の男女
- ・有効回収サンプル数：600サンプル
- ・調査期間：2017年9月7日～9月13日